7．栽培管理用機械

1）培　土　機

(1) 用　途

畝栽培作物の倒伏防止、畝間除草、深ネギの緑化防止などのため畝間の土を作物の株元に寄せ上げる培土（土寄せ）作業に使用する。

(2) 構　造

培土機には、ボトム型とディスク型があり、畝立て（次項見よ）にも使用できるものが多い。

ボトム型は、左右２個のはつ土板を有し、機体の進行とともに、はつ土板で両側へ土を寄せ揚げて培土するものであり、左右のはつ土板の角度を調節できるものもある。培土機には目的に応じて各種のものがあり、はつ土板が１個の片培土機もある。培土作業は、単独に行われる場合もあるが、ロータリー、カルチベーターなどに取付けて中耕除草作業と同時に行われることが多く、これは中耕・培土作業と呼ばれる。

一方、ディスク型は、中くぼみの２枚の円板を左右に向かい合わせに取付けたもので、機械の進行により、円板が回転して土を内側に掻き上げながら培土するものである。

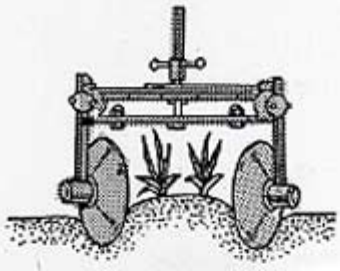
(3) 取扱上の留意点

ボトム型は培土する土の量を調節するのが難しく、小さな作物に対する培土には適さない。ディスク型は、土の量や移動距離を調節できるので、小さな作物の培土にも適する。なお、中耕除草と同時に行う時には、作物の断根に注意する。

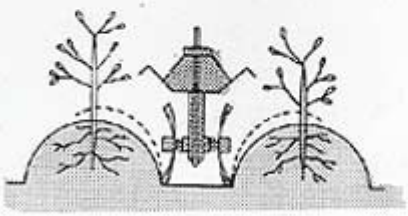
(4) 安全作業のポイント

① トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。
② 点検・調整・修理は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。
③ 着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。
④ 始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。
⑤ 移動時には他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。

ボトム型培土機



ディスク型培土機



ロータリーによる培土作業